

※13時30分までに
ゴールしてください。

スタート！（鶴里駅2番出入口）→

村上社のクスノキ→八幡社（桜田勝景跡・桜田貝塚跡）→見晴台考古資料館→笠寺観音→戸部新左衛門之碑→富部（とべ）神社→東海道制定400年記念碑→清水稲荷・長楽寺→呼続公園→桜神明社・桜神明社古墳→東宝寺→

ゴール!!（桜本町駅3番出入口より改札口付近へ）

ご参加の皆様へ

- ◆コース上の矢印を目安に歩きましょう。
- ◆コースをむやみにはずれないようにしましょう。
- ◆ゴールで、参加賞を受取り、スタンプを押しましょう。
- ◆速さを競うものではありません。各自のペースで楽しく歩きましょう。
- ◆交通ルールを守り安全に歩きましょう。特に踏み切りの横断の際は、十分注意をしましょう。
- ◆歩道を横に広がって歩かないようにしましょう。
- ◆住宅街の中を歩く時は、静かに歩きましょう。
- ◆ゴミは必ず各自で持ち帰りましょう。
- ◆歩きながらの喫煙など、他人の迷惑になる行為を避け、マナーを守りましょう。
- ◆自然や動植物、歴史的建造物を大切にしましょう。
- ◆イベント参加中の事故については責任を負いかねますのでご了承ください。

ゴール！

地下鉄 桜本町駅
3番出入口から
地下に下りましょう！

注意!!
踏切は十分
注意して渡
りましょう。

注意!!
踏切は十分
注意して渡
りましょう。

スタート！

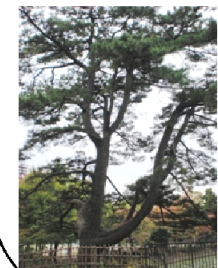
地下鉄 鶴里駅
2番出入口から
地上に上がりましょう！

呼続公園

公園を中心にした一帯は、縄文晩期から中世までの曽池遺跡である。



池のほとりには、源頼朝公が旗を掛けて休んだと伝わる旗掛けの松がある。



清水稲荷 長楽寺

長楽寺には、盲導犬サーブも眠る盲導犬の慰霊碑がある。

村上社のクスノキ

市の天然記念物に指定された、樹齢千年を超えるクスノキ。



富部（とべ）神社

別名「蛇毒神社」、「戸部天王」ともいう。本殿は、よく桃山様式を伝え、国の重要文化財である。境内の山車蔵にある高砂山車は、市指定有形民俗文化財。



桜神明社（桜神明社古墳）

信号がありません。注意して横断してください。

東宝寺

桜村固本碑がある。

笠寺観音（笠覆寺）

尾張四観音の一つ。節分や六の市（毎月6日、16日、26日）は大変なにぎわいを見せる。境内には松尾芭蕉の句碑や宮本武蔵の碑など文化財も多い。

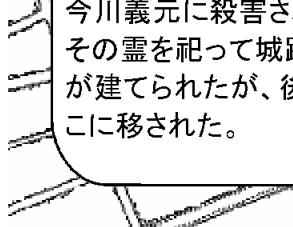


八幡社

（桜田勝景跡・桜田貝塚跡）
この貝塚跡から出土した「魚形土器」は全国的にも珍しいもので市指定文化財である。また、このあたりは、万葉の頃から歌に詠まれた勝景桜田を眺望できた最適の場所であった。

戸部新左衛門之碑

戸部新左衛門政直は、戦国時代の戸部城主であり、織田信長の計略にかかり三河吉田（豊橋）で今川義元に殺害された。その霊を祀って城跡に碑が建てられたが、後にここに移された。



西側（左側）をお歩きください。

北側（右側）の歩道を通り、高架をくぐってください。

←公衆トイレ。
清潔に利用しましょう。
※印はだまかな位置を示しています。
地下鉄駅構内にもトイレがあります。ご利用ください。

見晴台考古資料館

同館のある見晴台遺跡などからの出土品を展示しており、特に復元された竪穴式住居は見もの。また開催中の「なごやの埴輪」展は本日が最終日。（見学無料）



見晴台考古資料館～笠寺観音 拡大図

至 商店街

至 八幡社

①見晴台考古資料館

見晴台遺跡や市内の他の遺跡の発掘調査を行い、調査の結果や出土したものを展示している。映画会や講演会なども定期的に行われており遺跡の保存と活用の場として重要な役割を果たしている。(見学無料)

次にお越しの際は・・・

市バス「笠寺西門」下車 東へ徒歩7分 または
地下鉄 桜通線「鶴里」駅下車 南西へ徒歩15分
市バス・地下鉄でお出かけください。

②住居跡観察舎



見晴台遺跡で発掘された遺構を原寸大で展示し、うち1軒は竪穴式住居の上屋が復元してある。

③高射砲の台座

太平洋戦争中に高射砲の陣地となり、当時の高射砲の台座が現在も残っている。

④濠再現コーナー

弥生時代の濠跡の一部を再現したもの。

⑤弥生の森

弥生時代の生活に関係の深い樹木を植栽したもので、ヤマモモ、スダジイなどが植えてある。

笠寺観音（笠覆寺）

笠寺観音は正式名を「天林山笠覆寺(てんりんざんりゅうふくじ)」といい、甚目寺・荒子・竜泉寺とともに尾張四観音の一つとして古くから親しまれてきました。

もとは小松寺といい、天平年間(729年頃)に僧禅光が開きましたが、その後荒廃し、延長8年(930年)に藤原兼平(関白藤原基経の三男)がこの地に復興し笠覆寺と名付けられました。

当寺には、国の重要文化財をはじめとして、県指定文化財、境内に芭蕉句碑や宮本武蔵の碑などの史跡や文化財が多数あります。また、それだけでなく節分や六の市(毎月6日、16日、26日)は大変なにぎわいも見せます。



また、笠寺観音は、泉増院・東光院・西方院とともに、現在も残る「笠寺十二坊」のうちのひとつです。

玉照姫伝説

もと美濃国の豪族の娘 玉照姫は、あまりの美しさゆえ不運な運命に巻き込まれ、鳴海の長者の召使いとなってしまいます。

不遇な生活を送りながらも、玉照姫は決して希望を捨てません。いつも呼続の里の街道わきにあった観音像にお祈りしていました。

ある雨の日、すぶぬれになっていた観音像に自分の笠をかぶせてあげた玉照姫は、たまたま通りかかった藤原兼平に出会います。

兼平は心優しい玉照姫を見初めてプロポーズ、めでたく二人は結婚し、京で幸せになったのでした。

「玉照姫伝説」は南区に古くから伝わる有名なお話で、笠寺の地名の由来になったものです。

駅ちかウォーキング1万人突破ありがとう

今年の春(4月)より開始した「駅ちかウォーキング」、大変多くの方にご参加いただいた結果、前回で参加者が1万人を突破いたしました。これも、皆さまが「駅ちかウォーキング」に楽しく参加していただいたおかげだと感謝しております。ありがとうございました。

そこで、これまでのご愛顧に感謝し、この秋最後の開催となりましたきょう、ご参加の皆さまにささやかではありますが記念品をご用意いたしました。ゴールにてお渡ししますので、どうぞお持ち帰りください。

なお、駅ちかウォーキングは、冬の間しばらくお休みをいたしますが、来年の3月より『駅ちかウォーキング2009 SPRING』として開催を予定しております。2月ごろにはポスター等でお知らせする予定ですので、どうぞ楽しみにお待ちください。

これからも、より多くの皆さまに楽しんでいただけるよう、新たなコースの開拓やお楽しみ企画など検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

平成20年11月24日
駅ちかウォーキング事務局